

エネルギーのふるさと



とまり

迎春

みなさまのご多幸を
お祈り申し上げます。
平成21年 元旦



祝 泊中学校 校舎・屋内体育館改築 落成記念式典〈平成20年12月7日〉

2009
平成21年

1月

No. 569

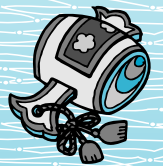
…… 今月の主な内容 ……………

- ◆ 年頭のご挨拶
- ◆ 2008年フォトフラッシュバック
- ◆ 日本海ニコニコ元気村トピックス
- ◆ 暮らしの告知板
- ◆ とまり木文芸

やさしく走ろう泊のみち



新年のご挨拶



泊村長
牧野浩臣

新年あけましておめでとうございます。

年始にあたり一言、ご挨拶を申し上げます。

村民の皆様には、心新たに希望に満ちた新春をご家族とともに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年の年のはじめに佐藤淳一村長が急死され、悲しい年の初めを迎えましたが、私は、前村長のご意志を継ぎ、村民の皆様のご支援により村長に就任させて頂き、早いもので一年を向かえることができました。

これも偏に、村民の皆様をはじめ議会のご理解とご協力によるものと心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、気候的には、穏やかで甚大な被害もなく良い年でありましたが、国

内の経済においては、新興国や資源国の影響を受け、予断を許さない我が国の社会情勢にあり、

市町村を取り巻く経済の情勢と住民の生活は、大変、厳しいものがあります。特に、国の地方分権一括法の改革以来、道州制はじめ支庁再編、市町村合併、普通交付税や交付金の削減、更には広域化の推進等の山積する諸課題により、市町村の財政に益々、厳しさを増しているところであります。

このような諸情勢の中で、いかにして「特色のある村づくり、特色のある住民サービス」の独自の街づくりが課題となる地方自治の大きな転換期を向かえているところであります。

お陰様で本村は、原子力発電所の立地する自治体であることから、他町村にない固定資産税や電源立地交付金等の収入によ

り「各種事業と住民サービス」を執行させて頂いており、今年も引き続き手厚い各種サービスを図ってまいります。

昨年の懸案事業は、総合計画に沿って執行することが出来、特に、十二月には、村民の待望とする泊中学校校舎・屋内体育館改築落成記念式典を挙行することができ、村民の慶びとするところであり、村民の皆様のご理解とご協力によるものと心から感謝をしているところであります。

本村の政策としております、福祉・医療・介護等は「ふるさと定住促進奨励事業」と「各種の医療費助成制度」の中で、きめ細やかなサービスを提供し、住民の福祉と健康管理を図り、特に茅沼診療所には、精密な医療機器のMRIとCTを設備しておりますので、病の早期発見から多くの村民の検診を願っております。

基幹産業としての水産業・商

工業・観光業については、経済社会の低迷から本村におきましても厳しい状況下にあります。

水産業では、盃・泊村・神恵内漁業協同の古宇三組合が今年四月一日から合併して「古宇郡漁協」の誕生となりますが、漁民の豊かな生活と将来の漁業基盤の安定を願っております。

商工業と観光業では、関係業者が一丸となつて経済活性化を目指したアイデアの中で事業の発展を期待するものであります。

建設業については、地方自治体の財政難から公共事業が減少するなど厳しい状況を迎えております。本村としましては、快適な生活環境づくりの公共下水道事業を了して今日を迎えておりますが、総合計画に沿って土地取得と造成を図り公共施設の建設を計画し、地元業者への事業発注を考慮しながら快適な生活圏を目指してまいります。

教育行政については、時代を担う子供達の教育施設と環境整備を進め、特に、泊中学校校舎

の改築とともに屋内体育館も完成しましたので、村の総合体育施設としても位置づけ各種スポーツの振興を図ってまいりますのでスポーツ関係団体等のご利用とご支援ご協力を期待しております。

泊原子力発電所については、「住民の安全性を常に確保されていることが大前提である」と国や道そして北海道電力㈱に申し入れ、特に監視体制の強化の中で安全管理・管理の指導・情報公開・防災体制を今後においても強く要請してまいります。

昨年、四月十八日にプルサーマル導入について北電㈱から北海道と岩手四か町村に申し入れがあり、昨年十二月十九日に泊村原子力対策特別委員会から「プルサーマル計画の同意書」を村は、受け取ったところであります。立地村として「住民の安全と安心」について慎重に判断し、しかるべき時期にプルサーマル計画の方向性について決意したいと思っております。

クリーン・エネルギーとする

泊原子力発電所は、村づくりの経済波及効果のある施策として積極的に進めてまいります。

このように、村の懸案事業は、多くの課題を抱えておりますが、村民の皆様がご期待される「住んで良かった村づくり」と「安全で安心した生活の環境づくり」更には「希望に満ちた活力あるふるさとづくり」を村民の皆様とお話し合いの中で努力してまいります。

年頭にあたり村政の一端をご紹介いたしました。泊村の現状は、重要案件が山積しており、村民の皆様のお知恵を拝借し、村議会のご協力を頂きながら、職員が一丸となって「活力ある村づくり」を進めてまいります。

今年も更なる皆様のご支援をお願い申し上げますと共に村政執行にご理解とご協力をお願い申し上げます。

村民の皆様の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。まして新年のご挨拶と致します。

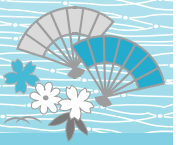




年頭あいさつ

泊村議会議長

北村 章二郎



新年あけましておめでとうござ
います。

平成二十一年の年頭にあたり、
村議会を代表致しまして謹んで新
年のご挨拶を申し上げます。

まずもって、村民の皆様方にお
かれましては、ご健勝で新たな年
をお迎えになられたことと、心
からお慶び申し上げます。

日頃から私ども議会活動に対す
る暖かいご理解と絶大なご協力
を賜り厚くお礼申し上げます。

お陰をもちまして、昨年も着実
に本村発展の基礎を固めてまいり
ましたが、ここに新年を迎え、更
なる躍進を期するものであります。

ご承知のとおり、今日の市町村
を取り巻く環境は、地方分権改革
の進展、合併による地域社会の再
編、少子・高齢化社会の到来や厳
しさを増す財政状況等、大変厳し
い状況におかれています。

国・地方の関係をめぐる一連の
行財政改革は、財政力の弱い小規
模町村に、より深刻な影響を及ぼ
し、個性豊かな地域づくりに支障を
来し、さらには、地域間の格差が

広がっているのが実状であります。

このような中であつて、本村と
しても克服すべき多くの課題を抱
えており、行政に対する期待は、
その質・量とも益々複雑多様化し
ている状況にあります。

幸いにも、本村は原子力発電所
関連の各種交付金や固定資産税等
の収入により健全財政を堅持しな
がら、第三次泊村総合計画に基づ
き、各種事業が着実に実施されて
おり、泊中学校の改築工事が完成
し、学校給食共同調理所改築工事
がまもなく始まろうとしています。

住民の生活環境が飛躍的に向上
され「泊村に住んで良かった・住ん
でみたい」と村内外から言われる村
づくりが着々と進んでおります。

私ども議決機関と致しましては
郷土に「誇りと愛着の持てる村づ
くり」の推進に向け、今後更に創
意工夫を重ね、慎重審議に努め、
村民皆様方のご期待に応えるべく
議員一同決意を新たにしております
ので、どうか本年も相変わらぬ
ご支援・ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

最後になります。新しい年が
村民の皆様にとりまして明るい、
ご多幸の年でありますよう心から
お祈り申し上げます、新年のご挨拶と
いたします。



北海道知事
高橋はるみ

平成二十一年 知事年頭所感

新年明けましておめでとうござ
います。皆様とともに新しい年を
迎えることができましたことを、
大変嬉しく思います。

皆様には、平素から道政各般に
わたり、深いご理解と温かいご支
援を賜り、心から感謝を申し上げ
ます。

さて、昨年を顧みますと、何よ
りもまず「北海道洞爺湖サミット」
が開催され、この北海道が世界の
注目を浴びる晴れの舞台となった
歴史的な年でありました。

各国の首脳をはじめ多くの方々
を、北海道ならではの「おもてな
しの心」で歓迎し、サミットの成
功を支えることができましたこと
は、大きな誇りと喜びであり、道
民の皆様のご理解とご協力に、改

めて感謝を申し上げます。

また、アイヌの方々の社会的・
経済的な地位の向上につながる
「アイヌ民族を先住民族とするこ
とを求める決議」が国会で行われ
たほか、北京で開催されたオリ
ンピックやパラリンピックでは、本
道ゆかりの選手が大活躍し、私
たち道民に大きな希望や感動をもた
らしてくれた年でもありました。

道政においては、新しい総合計
画「ほっかいどう未来創造プラン」
がスタートしたほか、サミットを
契機とした「北海道環境宣言」の
発信など、新たな北海道づくりを
めざす動きが始まりました。

しかしその一方では、原油・原
材料等の価格高騰や、米国の証券
会社の破綻を契機とした金融不安
の広がりといった世界経済の激動
が、本道の経済活動や道民の暮ら
しに大きな影響を及ぼし、本道の
経済情勢は大変厳しいものとなつ
ております。道としても、基幹産
業である一次産業や中小企業への
支援をはじめ、道民生活の安心確
保に向けた緊急総合対策を早急に
講じるなど、経済や暮らしを守る
取組に全力を傾けてまいりました。
北海道は、今、まさに大きな変
革期を迎えています。我が国が人
口減少社会に突入し、本道の人口
も五百六十万人の大台を下回り、

少子高齢化は全国を上回る速さで進んでいます。こうした状況のもと、地域の活力を高め、持続可能な地域経済を確立することに加え、国や地方においては徹底した行財政改革が求められ、地方分権改革の推進が急がれています。

新春を迎え、私としては、時代の潮流を見据え、現在の厳しい経済・社会状況に、スピード感を持ってしつかりと対応するとともに、将来に向け、力強い経済・産業構造を築き上げ、道民の皆様の暮らしを守り、恵まれた環境を未来へ引き継いでいくため、全力を尽くしていかなければならないと、決意を新たにしているところであります。

幸い、本道には、サミットの開催を通じて世界から高い評価をいただいた豊かな自然環境や、「食」・「観光」をはじめ、多彩な文化など世界に誇るべき魅力と可能性が各地に広がっています。

こうした本道の素晴らしさや価値を、さらに高め、国内外へと積極的に発信していくことにより、北海道の元気につなげていくことが重要です。

私としては、この一年を、オーロル北海道の英知と力を結集し、未来への扉を開く力強い一步を踏み出す、明るい希望の年にしたいと

考えております。

皆様の一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして幸多き年となりますよう心から祈りを申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



北海道後志支庁長
宮木 康二

平成二十一年 年頭あいさつ

新年おめでとうございます。平成二十一年の新春を、皆様とともに迎えることができましたことを心から嬉しく思っております。

日頃から後志支庁の各種取り組みにご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、天候は、融雪が早く春先から好天に恵まれ、台風の上陸もなく、概ね順調に推移した一年でありました。

このような中、農業については、水稲が平年をやや上回る作柄で、食味も近年になく高品質なものとなったほか、馬鈴しょや大根・人

参などの畑作物についても生育が順調に経過し、概ね平年並からやや上回る作柄となりました。

また、水産業では、秋サケ漁は不振でしたが、春先のニシンやホッケ、夏場のスルメイカが好調であり、特にニシンは、南後志地区で半世紀ぶりの豊漁、ホッケは秋以降も順調な水揚げを維持し、全体では、例年を上回る漁獲を確保することができました。

次に、観光についてであります。上期では、管内の入込客数が3%余り減少したものの、依然として道内トップクラスであり、また、香港やシンガポール、中国といったアジアを中心に外国人観光客が5%ほど増加するなど、多くの方々に、後志の多彩な魅力を満喫していただけたものと思っております。

また、昨年七月に開催された「北海道洞爺湖サミット」では、留寿都村の国際メディアセンターに世界各国の報道関係者が集結したほか、真狩村では、地域の食材を市場形式で提供する「北のまるしえ」にG8首脳配偶者がお立ち寄りになるなど、国内外からの注目を集め、後志の豊かな自然や食の魅力の世界に向けてPRできたものと、大きな手応えを感じております。

一方、九月には、赤井川村と俱

知安町を結ぶ国道393号線「メーブル街道393」が開通し、道内有数のリゾート地であるニセコとキロロの広域観光が可能となつたことから、今後、観光客の増加にもつながるものと大いに期待しています。

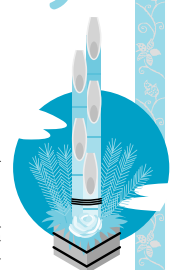
これからも、後志の「食」と「観光」を世界に通用するブランドに育て上げ、地域の素晴らしさや価値を一層高めて、国内外に発信する必要がありますと考えております。

そして、何よりも、こうした後志の魅力をより多くのお客様に感じて頂くためや、地域の皆様が安全・安心に暮らせるための生活基盤としても、北海道新幹線や高規格幹線道路など、地域をつなぐ高速交通ネットワークの整備が強く望まれています。

現在、世界的な金融不安や円高で、管内の経済活動や生活への影響も懸念されますが、後志支庁としては、管内の将来を見据えて、地域経済の活性化はもとより、安全で安心して暮らせる地域づくりをしつかりと進めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆様にとりまして、新しい年が希望に満ちたすばらしい一年になることを心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



役 場

村 長 牧野 浩臣
副村長(もいわ荘支配人事務取扱) 田村 義人

会計管理者兼出納課長 水野 雅敏

総務 部長 結城 博

総務 課長 赤平 晃

企画振興課長 西宮 勝彦

財政 課長 沼畑 智

建設水道課長 佐藤 茂樹

産業 課長 武井 大三

住民福祉課長 福森 幸子

保健センター長 長尾 透

むつみ荘荘長 中畑 英司

とまり保育所所長 福森 武二

議 会

議長 北村章二郎
副議長 宇留間文宣
議員 小林 常次
加藤 晴雄
三浦 弘文
結城 智
吉田 茂樹
安藤 徳久
酒井 元純
高谷 進

表彰審議会

委員 三好 義雄
北村章二郎
安藤 徳久
國分 克之
寺井 喜正
佐藤 友一
本多 正博
福森 洋子
近江 禮子

監査委員

教育長 木村 充夫
次長 山本 昇
ほか職員一同 結城 智

教育委員会

事務局長 川村 光夫
委員長 國分 克之
委員長職務代理者 小林 勝行
委員 大橋 芳之
寺井 義則
山本 昇

特別職報酬等審議会

会長 宮谷 秀吉
会長職務代理者 二瓶 幸雄

住みよい村づくり推進協議会

小林 勇
能井 勝治
小林 洋二

泊村情報公開審査会委員

会長 北村章二郎
副会長 二瓶 幸雄
吉田 茂樹
工藤 澄子
寶喜 敢秀

固定資産評価審査委員

北村章二郎
二瓶 幸雄
吉田 茂樹
工藤 澄子
寶喜 敢秀

選挙管理委員会

委員長 佐藤 友一
委員長職務代理者 本多 正博
委員 三浦 至
小林 勇悦
佐藤 友一
森崎 昭雄
長岐登代子

交通安全指導委員

部長 丹羽 隆
副部長 佐藤 友一
指導員 宮谷 悟
小林 信雄
深津 象蔵
背戸 昭夫
田原 淳
田中 實
立花東寿彦

国民健康保険運営協議会

会長 北村章二郎
会長職務代理者 安藤 徳久
近江 禮子
三好 義雄
佐藤 友一
小林 勝行
小松 正伸
渡部 正之

国民宿舎運営委員会

会長 宮谷 秀吉

委員

小林 常次
吉田 茂樹
三好 義雄
三島 静雄

岩内・寿都地方 消防組合泊消防団

団長 北村章二郎
副団長 丹羽 隆
澤田 正徳
ほか団員一同

岩内・寿都地方消防 組合消防署泊支署

泊支署長 菊池 文秀
副支署長 小林 範夫
赤坂 昭美
ほか職員一同

人権擁護委員

小林 常次
二瓶 幸雄

有線放送番組審議会

委員 妹川 一教
吉田 茂樹
小林 常次
出口 雅昭
藤巻みや子
福森 洋子
對馬英登志
寺井 博
二瓶 幸雄

有線放送施設運営委員会

委員

北村章二郎
寺井二三男
小林 洋二
安藤 徳久
國分 克之
酒本 征史
近江 裕利

社会教育委員

委員長 深津 衆蔵
副委員長 能井 勝治
委員 三好 義雄
北村章二郎
宇留間文宣
山口 信一
福森 洋子
梅庭 英良
高橋 巖一
浜本 哲栄
妹川 達也
小塚喜見枝
藤巻みや子
出口 雅昭

泊村公民館運営審議会

委員長 三好 義雄
副委員長 梅庭 英良
委員 北村章二郎
山口 信一
深津 衆蔵
能井 勝治

青少年問題協議会

委員長

出口 雅昭
福森 洋子
藤巻みや子

泊村学校給食 共同調理所運営委員

委員長 小林 範夫
副委員長 出口 雅昭
委員 武田 哲也
江良 直子
加藤 哲朗
北端 克郎
細井 信一
山口 信一

泊村文化財保護委員

委員長

浜本 哲栄
梅庭 英良
工藤 卓也

民生児童委員

委員長 伊勢 秀勝
副委員長 廣川登美枝
委員 渡辺 富雄
高橋 美智
高橋 義忠
大橋 敦子
工藤 澄子
福森 洋子
高橋 巖一
妹川 一教
小林 勇悦
菊地 和子
藤巻みや子
赤坂 規子

公営住宅入居者 選考委員会

委員

北村章二郎
小林 常次
二瓶 幸雄
高橋 巖一
妹川 一教
廣川登美枝

泊村障害程度 区分認定審査会

委員長 小松 正伸
職務代理者 森井 正規
委員 秋島 光雄
山田奈央子
菅原 郁子

2008年 昨年ほこんなことがありました

フォトフラッシュバック



1月21日
牧野浩臣氏が泊村長選挙に於いて初当選
(初登庁)



1月13日
泊村成人式
(泊村公民館)



1月7日
泊消防団出初式
(泊村公民館)



3月1日～2日
第9回泊村長杯選抜少年アイスホッケー大会
(泊村アイスセンター)



2月13日
泊中学校新入生一日入学
(泊中学校)



1月27日～2月16日
各地域会新年交礼会
(各地区集会所)



4月9日
交通安全車輛パレード
(とまりん館前～茂岩)



4月4日
とまり保育所入所式
(とまり保育所)



3月28日
半世紀ぶりニシン大漁
(泊漁港)



5月23日
泊村寿大学修学旅行
(真狩村・二セコ町)



5月3日
盃さかなまつり
(盃漁港荷捌所)



4月14日～21日
6月からのゴミ処理住民説明会
(各地区集会所)



6月27日
ふれあいパークゴルフ大会
(とまりカブトラインパーク)



6月20日～7月10日
各地域神社祭



6月2日～3日
ニシン稚魚放流
(堀株海岸)



7月19日
第37回群来まつり
(盃海水浴場)



7月15日
燃料高騰による全国一斉休漁
(泊・盃漁港)



6月28日～29日
第4回泊村長杯長ぐつアイスホッケー大会
(泊村アイスセンター)



9月12日
泊村敬老会
(泊村公民館)



8月22日
泊村戦没者追悼式
(泊村公民館)



7月31日
愛媛県伊方町子供親善大使来村



10月31日～11月2日
泊村公民館まつり
(泊村公民館)



10月11日
新校舎で初めての泊中学校文化祭
(泊中学校)



9月14日
HOKKAIDOとまりマラソン2008
(とまりん館周辺)



12月20日
親子・少年少女カルチャー教室
「しめ縄づくり」(泊村公民館)



12月7日
泊中学校 校舎・屋内体育館改築落成記念式典
(泊中学校)



11月3日
第43回泊村功労者表彰式
(泊村公民館)

11/28 泊村高齢者と中学生のふれあい広場

泊村公民館で泊村老人クラブ連合会主催の、泊村高齢者と泊中学校1年生20名とのふれあい広場が行われました。この催しは、中学生にお年寄りと触れ合う機会を与え、世代間を越えた心と心の対話や、交流の活発化を促すことを目的に行われました。

最初に、中学生はお年寄りから杵と臼の使い方を教わり、初めてのもちつきに挑戦して、杵の打ち下ろしに合わせて「よいしょ」と掛け声を出していました。つきたての餅は「お雑煮」や「あんこ餅」にしてみんなで味わいました。交流会後半は、中学生の劇や合唱の発表、一緒にミニゲームを行い、世代を超えて心温まるひとときを過ごしました。



12/5 平成20年度泊村納税会議

平成20年度泊村納税会議が、国民宿舎もいわ荘で開催されました。

会議には各地域納税貯蓄組合長をはじめ、組合員の皆さんが多数出席されました。会議では牧野村長の挨拶の後、納税貯蓄組合設立50周年を迎えた第9・12地域に感謝状と記念品が贈られ、続いて役場担当者より村税の収入状況について説明がありました。会議終了後は懇親会が開催され、組合員同士による交流を深めました。



12/7 泊中学校 校舎・屋内体育館改築落成記念式典

真新しい校舎・体育館に生まれ変わった泊中学校の体育館で落成式が行われました。式には在校生60名をはじめ、教職員、教育委員会関係者、建設工事関係者、地元の代表者など約180名が出席し、校舎・体育館の完成を喜びました。

牧野村長は「生徒の皆さんは、よりいっそう勉学に励まれ次世代を担う人間として大きく成長されることを期待します。」とあいさつ。

全校生徒による校歌斉唱がはじまると、真新しい体育館に大きな歌声が響きました。



新校舎全景



海を見ながら食事ができるランチルーム



陽が差し込む明るい教室

12/9 ~ 12/12 村政懇談会 開催

村政懇談会が12月9日から、渋井地域を皮切りに村内5地域の各地区集会所で開催されました。

牧野村長を始め、副村長、教育長、議長、各課長が直接、皆さんにお会いし、住民の方々と村が互いの意見を交換しました。今後、皆さまからいただいたご意見やご要望は参考にさせていただき、村行政に反映させていきたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。参加された皆さま方大変ありがとうございました。



12/13 第20回泊村民(会長杯)卓球選手権大会

泊卓球協会が主催する、第20回泊村民(会長杯)卓球選手権大会が、堀株地区集会所体育館で開催されました。

おもに村内の小・中学生が参加して行われたこの大会は、小学生の部・中学生女子の部・中学生男子の部の3つに分かれ、それぞれ個人シングルス戦で熱戦が繰り広げられました。

成績は次のとおりです。
小学生の部(低学年 男女混合)
優勝 長尾 将史君
中学生女子の部
優勝 本間 李菜さん
中学生男子の部
優勝 相川 隆宏君



長寿医療制度(後期高齢者医療制度)のお知らせ

～被保険者の医療費負担を軽減するため、次の2点が見直されました。～

75歳になる月の自己負担限度額が調整されます。

国民健康保険では世帯毎の所得に応じて、月の医療費負担額に上限を設けています。

月の途中で75歳になって長寿医療制度に移り、その月に高額な医療費がかかった場合は、移る直前に加入していた医療保険制度と長寿医療制度のそれぞれで自己負担限度額までを支払うことになり、最高で限度額の2倍の金額を支払う方がいました。

平成21年1月からは下図の例のように、月の途中で75歳になった方は、誕生日前後の医療保険制度で限度額が半額ずつになります(1日生まれの方は、影響がないため対象外です)。

限度額を超える額を支払った場合は、超えた額を支給します(対象者には、お知らせします)。

なお、平成20年4月から同年12月までに、月の途中で75歳になった方も対象になります。

※【図】自己負担限度額が半額になる例(入院等で医療費が高額になった例)

Aさん74歳単身者(2月生まれ)で区分「一般」の場合

	1月	2月	3月
国民健康保険 被用者保険	自己負担限度額 44,400円	自己負担限度額 22,200円	
長寿医療制度		自己負担限度額 22,200円	自己負担限度額 44,400円
合 計	1月:44,400円 [国保・被用者保険 44,400円]	2月:44,400円 [国保・被用者保険 22,200円 長寿医療制度 22,200円]	3月:44,400円 [長寿医療制度 44,400円]

Bさん75歳・Cさん74歳(2月生まれ)で区分「一般」の場合

	1月		2月		3月	
	Bさん	Cさん	Bさん	Cさん	Bさん	Cさん
国民健康保険 被用者保険		自己負担限度額 44,400円		自己負担限度額 22,200円		
長寿医療制度	自己負担限度額 44,400円		自己負担限度額 44,400円※		自己負担限度額 44,400円	
合 計	1月:88,800円 [国保・被用者保険 44,400円 長寿医療制度 44,400円]		2月:66,600円 [国保・被用者保険 22,200円 長寿医療制度 44,400円]		3月:44,400円 [長寿医療制度 44,400円]	

1月から窓口負担割合が変更になる方がいます。

医療機関での窓口負担の割合が3割の方のうち、次の要件に当てはまる方は、平成21年1月から1割負担になります。

該当すると思われる方には、個別にお知らせをお送りしています。

【要件】次のすべてに当てはまる方です(3割負担の方全員が該当するわけではありません。)

- ① 同じ世帯内に、長寿医療制度の被保険者が一人である。
- ② 同じ世帯内に、70歳～74歳の方が住んでいる。
- ③ 上記①と②の方の収入※1の合計額が520万円未満である。

※1 収入とは、前年(平成19年)の所得税法上の収入金額(退職所得に係る収入金額を除く。)であり、必要経費(公的年金等控除や給与所得控除など)や所得控除を差し引く前の額です。

お問い合わせ先

泊村役場住民福祉課保険係

電話 0135-75-2132

北海道後期高齢者医療広域連合

電話 011-290-5601

泊 発 電 所

1・2号機の状況

■泊発電所1号機(定格電気出力57万9千キロワット)

・第15回定期検査中

■泊発電所2号機(定格電気出力57万9千キロワット)

・定格熱出力一定で運転中

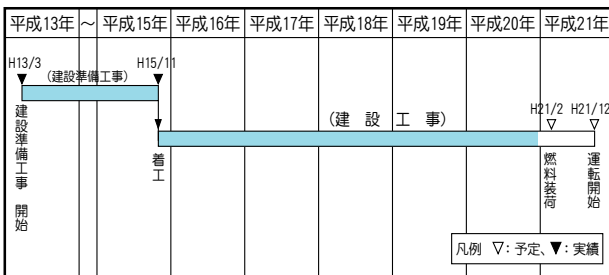


建設工事は順調に進んでいます

泊発電所3号機建設工事進ちょく状況(平成20年11月20日現在)

～泊発電所3号機建設工事の総合進ちょく率は、95.4%に達しています～

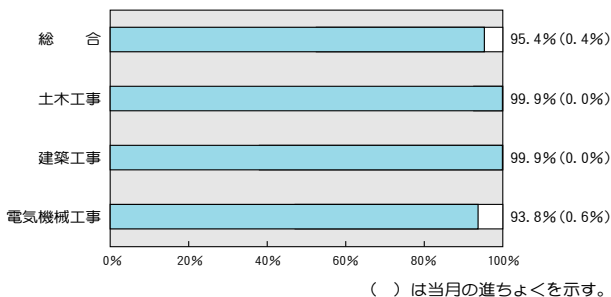
主要工程



2. 許認可

電源開発調整審議会上程	平成12年10月20日
原子炉設置変更許可申請	平成12年11月15日
公有水面埋立免許取得	平成13年4月16日
公有水面埋立竣工許可	平成15年6月16日
原子炉設置変更許可	平成15年7月2日
電気工作物変更届出	平成15年7月2日
着工(第1回工事計画認可)	平成15年11月21日
第8回工事計画認可(全工事計画認可取得)	平成18年4月28日

工事進ちょく率



4. 工事概況

○土木工事

- ・構内道路工事
3f・3g・3c・3n・3h道路の道路工事
- ・排水路工事



構内道路工事 3c道路舗装工事状況

○建築工事

- ・原子炉建屋他新築工事：各所仕上工事
- ・原子炉補助建屋他
PA設備新設工事：各所仕上工事
- ・補助ボイラー建屋屋上手摺他工事
各所仕上工事



原子炉補助建屋21.2m(中央制御室前)
タイルカーペット張り完成状況

○電気機械工事

- ・1次系設備設置工事
原子炉建屋、原子炉補助建屋内の保温・計装・塗装工事、機能試験
- ・2次系設備設置工事
タービン建屋タービン・発電機・復水器等の付帯工事、保温・塗装工事、機能試験 給排水処理設備・海水淡水化設備 試運転対応運転
- ・電機品据付配線工事
原子炉建屋、原子炉補助建屋、タービン建屋、電気建屋内の電線管工事、配線工事、照明工事、計装品の調整、機能試験
- ・付帯設備工事
補助ボイラー設備 試運転対応運転 3号機本館監視設備設置工事



ディーゼル発電機 機能試験状況



蒸気タービン初通気
回転上昇試験状況



定点撮影位置



①展望台より全景



②2号機タービン建屋屋上より



③3c道路より

プルサーマル計画の安全性について 有識者検討会議からの提言を受けました

有識者検討会議からの提言の主な内容

**プルサーマル計画については、国の安全審査を前提に、
ウラン燃料のみを利用する場合と同様、安全性が確保される**

ただし、原子力発電の厳格な安全性の確保とともに、道民の信頼感・安心感を高めていく観点から、次の「付帯意見」をいただきました。

①北海道電力(株)に求めるべき事項

- ・安全協定の遵守徹底
- ・法に基づく輸入MOX燃料の品質確保
- ・危機管理の考え方を十分取り入れた、より質の高い安全管理の方策の検討・充実
- ・安心の確保の観点からの環境モニタリングのあり方についての検討
- ・プルサーマル計画やエネルギーなどに関する住民への適切な情報の提供・公開

②国に要望すべき事項

- ・安全審査の厳格な実施
- ・使用済MOX燃料の再処理の検討及び高レベル放射性廃棄物の最終処分場の確保
- ・法に基づく輸入MOX燃料の品質確保
- ・耐震安全性評価結果の厳正な確認
- ・プルサーマルに係る住民理解の促進

③道・地元4町村が留意すべき事項

- ・安全協定の遵守徹底
- ・安心の確保の観点からの環境モニタリングのあり方についての検討
- ・プルサーマル計画の安全性に関する継続的な確認と情報提供
- ・安全・安心に係る情報の積極的な発信
- ・エネルギーを含めた総合的な環境教育の推進



有識者検討会議からは「提言書」とあわせて、検討結果の詳細を記した「報告書」が提出されており、内容は北海道のホームページでご覧いただけます。

[URL : http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/gat/p_top.htm]

※ご希望の方には、提言書と報告書をまとめた冊子を送付いたしますので、北海道（原子力安全対策課）または地元4町村役場にお問い合わせください。

「報告書」の内容については、今後、わかりやすい概要版の作成、配布を予定しています。

プルサーマル計画を泊村議会が承認

使用済み核燃料を再利用する北海道電力(株)泊発電所3号機のプルサーマル計画について、泊村議会原子力対策特別委員会は、道などの有識者検討会議が、12月14日最終報告を知事及び4町村長に提出がなされ、それを受け、有識者検討会議がまとめた最終報告の説明を受け、プルサーマル計画について安全性が確保されるとしたこの報告書を尊重し、住民の安全性に対する理解も深まっていると判断し、又5項目にわたる付帯意見書を尊重し、計画の承認に合意し、北村議長が牧野村長に報告書を提出しました。

※P12・13は平成20年度広報・安全等対策交付金事業により作成しております。

村職員人事異動

12月15日付け

総務部保健センター長及び地域包括支援センター長兼務
課長 長尾 透(教育委員会出向)※()内は異動前

除雪の際には住宅に引き込みの 光ファイバーケーブルにご注意を

現在、ご家庭で利用されておりますテレビやパソコン及び役場からの告知放送などは、光ファイバーケーブルが使われています。

特に、泊・茅沼・渋井・堀株地区は、下水道の公共枿から地中を通り、住宅の壁を立ち上がって屋内に引き込まれています。

この光ファイバーケーブルは、切断すると多額な修復費(60万円以上)がかかり、その修復費は切断した人の全額負担になります。

ケーブルは簡単には切断しませんが、機械による除雪などの屋外作業時は、光ファイバーケーブルに充分ご注意ください。

なお、家を改修される場合は、必ず役場までご連絡下さい。



お問い合わせ 役場・建設水道課 (TEL 75-2140)

納税証明書の申請はお早めに

例年、1月から2月には、指名願いや登録更新等に使用するため、納税証明書の交付申請が多くなります。

また、所得税の確定申告の時期と重なるため、税務署の窓口が大変混み合い、当日交付できない場合があります。

このため、次の事項にご注意のうえ、早めに交付申請されるようお願いします。

- ①印鑑は必ず持参してください。代理人が請求する場合は、代理人の印鑑が必要です。
- ②証明手数料として、1年分(法人の場合は1事業年度)1枚につき400円分の収入印紙又は現金が必要です。(収入印紙には消印しないで下さい)
- ③窓口に来られる方の身分を確認できるもの(運転免許証等)が必要です。
- ④代理人が請求する場合は、「委任状」が必要です。
- ⑤e-Tax又は郵送により請求することもできますので、詳しくは税務署にお問い合わせください。

問い合わせ

・倶知安税務署 管理徴収部門
(代表電話番号 0136-22-1192)

くらしの告知板

役場 ☎75-2021

確定申告のお知らせ

平成20年分の所得税の確定申告の受付が2月16日(月)から始まります。

確定申告書は、「前年の申告書控え」や「確定申告の手引き」などを参考に自分で作成し、お早めに提出してください。

確定申告書は、国税庁ホームページ【<http://www.nta.go.jp>】の「確定申告書等作成コーナー」でも作成することができます。

作成した確定申告書は、郵送等により提出できます。

申告会場にお越しの際には、印鑑、「前年の確定申告書等の控え」及び確定申告に必要な書類をご持参ください。

なお、還付申告の受付は、1月5日(月)から始まっております。

問い合わせ

・倶知安税務署 個人課税部門
(代表電話番号 0136-22-1192)

2月7日は、「北方領土の日」です。

「四島(しま)返還 あなたの声こそ 力です」
(平成20年度標語)



北方領土問題に対する国民の関心と理解を更に深め、全国的な北方領土返還要求運動の一層の推進を図るために、政府は1981年(昭和56年)1月6日の閣議で2月7日を「北方領土の日」とすることを決定しました。

この2月7日は、1855年(安政元年)伊豆の下田で、「日魯通好条約」が結ばれ、択捉島とウルップ島の間に国境を定め、択捉島以南の北方四島を我が国の領土として国際的にも明らかにされた歴史的な意義をもつ日であり、平和的な話し合いの中で領土の返還を求める北方領土返還要求運動推進の目的に最も合った日として設けられたものです。

道では、2月7日を中心とした1月21日から2月20日までの1ヶ月間を「北方領土の日」特別啓発期間として定め、全道各市町村や関係団体と協力し、各種啓発活動を展開します。

立地支援制度のご案内

岩宇4町村(岩内・共和・泊・神恵内)で立地・増設等を検討している企業の皆様へ

●立地支援の概要

- ・電気料金が補助金の交付で実質上割引に!!
原子力地域の振興を図るため、当該地域において新増設し雇用等の要件を満たす企業に対して、原則8年間に亘って、支払った電気料金の実績に基づき補助金が交付されます。

問い合わせ

- ・財団法人 電源地域振興センター
TEL 03-5405-8111(代)
- ・泊村役場 TEL 0135-75-2021(代)

北海道からのお知らせ

法人道民税・事業税の申告は、インターネットで申告できます。

北海道では、地方税ポータルシステム(エルタックス)を利用し、インターネットによる法人道民税・事業税の申告受付ができますので、ぜひ、ご利用ください。

利用できるのは、北海道に申告を行う納税義務者(税理士等代理人を含む)で、利用届出の手続きをされている方です。

利用開始の手続きの詳細につきましては、エルタックスホームページをご覧ください。

エルタックスホームページ <http://www.eltax.jp/>

北海道ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zim/>

問い合わせ

- ・後志支庁地域振興部税務課課税係
TEL 0136-23-1332

便利な国税電子申告・納税システム (e-Tax) を是非ご利用ください!

e-Taxは、インターネットができるパソコンがあれば、税務署に出かけることなく、国税に関する各種手続(所得税などの申告、全税目の納税及び各種申請・届出等)を自宅などから行うことができます。

①国税庁ホームページから電子申告

自宅から国税庁のホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用して、e-Taxに送信することができます。

②最高5,000円の税額控除

平成20年分の所得税の確定申告を本人の電子署名及び電子証明書を付して、申告期限内にe-Taxで行うと、所得税額から最高5,000円の控除を受けることができます。(平成19年分の確定申告で本控除の適用を受けた方は受けられません)

③添付書類を提出省略

所得税の確定申告をe-Taxで行う場合、医療費の領収書や源泉徴収票等は、その記載内容を入力して送信することにより、提出又は提示を省略することができます。(確定申告期限から3年間、添付書類の提出又は提示を求められることがあります)

④還付金がスピーディー

e-Taxで申告された還付申告は早期処理しています。(3週間程度に短縮)

この機会に是非e-Taxをご利用ください!

手続等の詳しい内容は、e-Taxホームページ

[<http://www.e-tax.nta.go.jp>] をご覧ください。

除雪に関するご理解とご協力について



公営住宅に入居されている皆様におかれましては、毎日の除排雪には苦勞されていることと存じます。

各公営住宅、同じ棟に入居されている方は協力をして、下記の事項に注意しながら除排雪されますよう、お願い申し上げます。

また、積雪状況が大がかりな場合は、村としても対応を検討いたします。

●公営住宅の皆様へのお願いです●

○軒下には車を停めない!

突然の落雪により、車に損傷を招くことがあります。軒下に駐車は絶対しないで下さい。

○ベランダや窓は定期的な除雪を!

ベランダや窓が隠れると、圧迫によりガラスが割れる危険性がありますので、定期的な除雪をして下さい。

問い合わせ

- ・泊村役場経済部建設水道課 TEL 75-2140

平成21年度及び22年度 競争入札参加資格申請の受付について

平成21年度及び平成22年度において、北海道が発注する工事又は製造の請負、物件の買入れ、物品の賃貸借（複写機、電子計算機及び自動車に限る）、その他契約にかかる競争入札に参加を希望される方の資格審査の申請受付を次のとおり行います。

1 申請書の受付期間

第1回 平成21年1月13日(火)から平成21年1月22日(木)まで

第2回 平成21年1月29日(木)から平成21年2月4日(水)まで

受付時間 9:30～12:00 13:00～16:30

※いずれの受付期間も、土曜日、日曜日及び祝祭日は除きます。

※受付時間は、変更となる場合がありますので後志支庁ホームページでご確認ください。

2 申請書用紙の交付場所及びお問い合わせ先

資格の種類	申請書用紙交付場所及び問い合わせ先
工事関係	北海道後志支庁地域振興部総務課 公共工事申請窓口 電話 0136-23-1326 (直通)
印刷物・印章の製造 物品の購入 複写機の保守サービス 物品の賃貸借	北海道後志支庁地域振興部総務課 出納需品係 電話 0136-23-1323 (直通)
庁舎等清掃 庁舎等警備 庁舎等消防設備保守点検 ボイラー等運転操作	北海道後志支庁地域振興部総務課 総務係 電話 0136-23-1313 (直通)

調理師の皆様へ！

働いている調理師は、『調理師業務従事者届』を出すことが調理師法で義務づけられています。



調理師法では、調理業務に従事している調理師の方は、2年ごとに12月31日現在の調理従事場所等を届出することが義務づけられており、今年は届出の必要な年です。☆届出の必要な方は、次のところで調理の業務に従事している調理師が対象となります。

- ・寄宿舎、学校、病院、事業所、社会福祉施設、老人介護保健施設、矯正施設、その他多数人に飲食物を調理して供与している施設
- ・飲食店営業、魚介類販売業、そうざい製造業

☆平成21年1月15日までに届出てください。

問い合わせ

- ・社団法人北海道全調理師会岩内支部
お食事処 ささや
岩内町字万代18-8 TEL 0135-62-2233
ぼたん食堂
岩内町字万代8-5 TEL 0135-62-0443
- ・最寄りの保健福祉事務所・支所
後志保健福祉事務所岩内地域保険部
岩内町字清住252-1 TEL 0135-62-1537

受講生を募集します

●冬期パソコン教室

- ・【Word2007入門講座】(午前10:00～12:00)
2月4日～2月25日 毎週水・金曜日開催
定員10名(先着順) 受講料:12,000円
- ・【初めてのExcel2003講座】(午後14:00～16:00)
2月4日～2月25日 毎週水・金曜日開催
定員8名(先着順) 受講料:12,000円
- ・【Access2003 3級試験対策講座】(夜間18:30～20:30)
2月4日～2月25日 毎週水・金曜日開催
定員8名(先着順) 受講料:12,000円

●後期認定職業訓練

「土木施工科①～電子納品に関する最新基準とCAD対応に関する諸問題～」

訓練期間:平成21年2月26日(木)～27日(金)

訓練時間:9:00～16:00(昼休み1時間)

定員:12名(先着順)

受講料:18,000円

「土木施工科②～最新ITを活用した現場施工～」

訓練期間:平成21年3月16日(月)～17日(火)

訓練時間:9:00～16:00

定員:12名(先着順)

受講料:18,000円

問い合わせ

- ・岩内地域人材開発センター
岩内町字東山8-16 TEL 0135-62-2183

安心実現のための緊急総合対策

国の「安心実現のための緊急総合対策」として、中小企業の雇用維持等創業支援を目的に、平成20年12月1日より助成金制度の創設、助成内容の拡充が行われました。

1. 中小企業緊急雇用安定助成金【創設】
経済上の理由による企業収益の悪化から、生産量が減少し事業活動の縮小を余儀なくされた中小企業事業主が、休業等を行った場合、休業手当相当額の5分の4を助成します。
2. 地域再生中小企業創業助成金【創設】
新たに食料品製造業、飲食料品小売業、介護事業等、情報サービス業、宿泊業、飲食店に於いて創業する中小企業事業主に対し、創業経費(対象経費の1/2)及び労働者雇入れの経費(1人60万円)を助成します。
3. 高齢者雇用開発特別奨励金【創設】
65才以上の方を雇い入れた場合に賃金の一部を助成。
4. 特定求職者雇用開発助成金【拡充】
中小企業が障害者を雇い入れた場合の賃金の助成を拡充。
5. 介護未経験者確保等助成金
介護未経験者の職場定着を図るため賃金の一部を助成。
6. 試行雇用奨励金【拡充】
中高年齢者、若年者の対象年齢の範囲を拡充。

問い合わせ

- ・岩内公共職業安定所 TEL 0135-62-1262
- ・雇用助成金さっぽろセンター
TEL 011-709-2311 内線3685

年末年始の 休日当番医

診療時間
9時～17時まで



12月31日(水) 年末	北内科クリニック ☎ 62-1457
21年1月1日(木) 年始	大井内科消化器科医院 ☎ 62-0986
2日(金) 年始	岩内協会病院 ☎ 62-1021
3日(土) 年始	岩内大浜医院 ☎ 61-2081
4日(日)	茅沼診療所 ☎ 75-3651
11日(日)	万代クリニック ☎ 61-2133
12日(月) 成人の日	石山内科クリニック ☎ 62-3223
18日(日)	前田医院 ☎ 62-1293
25日(日)	岩内協会病院 ☎ 62-1021

年末年始の 休日当番歯科医院

診療時間
9時～12時まで



12月29日(月)	島牧歯科診療所 (島牧村) ☎0136-75-6105
12月30日(火)	水野歯科医院 ☎ 62-1064
12月31日(水)	神恵内歯科診療所 ☎ 76-5945
21年1月1日(木)	にしぎき歯科医院 ☎ 62-1155
2日(金)	共和歯科診療所 ☎ 73-2040
3日(土)	牧口歯科医院 ☎ 62-0643

1月の相談日程

札幌弁護士会しりべし弁護士相談センター

1月 7日(水) 14日(水) 21日(水) 28日(水)

- ・事前予約制・予約受付 平日午前10時～午後4時
- ・岩内町高台84-3 (佐藤精肉店となり)
- ・☎ 0135-62-8373

不燃(粗大含む)ごみ受入停止日

☐受入停止日 1月26日(月)☐

問い合わせ先

・岩内地方衛生組合じん芥処理場 TEL 0135-62-6251

泊村アイスセンターとまリンク

12月30日(火) 9:00～15:00
12月31日(水)～1月5日(月)まで休みます。

デイサービスセンター

ホームヘルパーサービス
12月31日(水)～1月5日(月)まで休みます。

老人入浴バス

12月31日(水)～1月5日(月)まで休みます。

通院バス

12月31日(水)～1月4日(日)まで休みます。

茅沼診療所

12月31日(水)～1月4日(日)まで休みます。
※1月4日(日)は休日当番医になっております。

年末・年始のごみ収集

12月30日(火)まで通常どおり収集します。
12月31日(水)～1月4日(日)まで休みます。
1月5日(月)からは通常どおり収集します。

※休み期間中のゴミは、ご家庭に保管し、ごみステーション等には出さないで下さい。

◆問い合わせ先 住民福祉課 ☎75-2134

年末年始の業務

仕事納め
12月30日(火)
仕事始め
1月6日(火)

■役場窓口業務など
年末から年始にかけての役場の業務は左記のとおりです。
なお休み中の急を要する用件については、日直にご連絡ください。
☎75-2021

泊消防団出初式

1月7日(水)午前11時から
泊村公民館

泊村成人式

1月11日(日)午後1時から
泊村公民館

泊村立歯科診療所

12月29日(月)～1月6日(火)まで休みます。

戸籍の窓

11月20日～12月15日

ごめいふくをお祈りします

【死亡】

- (茅沼) 森井 榮一さん 73才 11月23日死亡
- (泊) 澤田マサ子さん 89才 11月25日死亡
- (渋井) 澤田初太郎さん 94才 11月28日死亡
- (滝の潤) 丹羽 優文さん 9才 12月1日死亡

【転出】

- 共和町 1人 岩内町 1人

読者より投稿

- 老人ホーム暮し 照舟
- 一、ホームでの食事に話す老人の知恵の多さにおどろく
 - 二、球根植える鋏をにぎる手に亡妻の手ぬくもりを感じはつとする
 - 三、凧の朝海辺に浮ぶ小舟を眺めこの地に暮す喜びを先祖に感謝す

とまり木文芸

俳句 (248)

冬の夜や手持ち無沙汰に引く事典

竹ヶ原タイ子

乙女孫の袷着物に初春の紅

竹井 和子

ばたばたと短き日々が流れ行く

赤坂明希子

初春や讀経の声堂に満つ

小林 諒子

煩惱を少し残して年を越す

寿々女

年迎ふ多祥を願ひ夜のねむり

泊 人

短歌 (351)

近江谷乃婦

綿の花捨つるが如くばたばたとま昼の雪は小止みなく降る

吉田智恵子

また一つ年齢を重ね除夜の鐘六十路なかばに今年こそわと

赤坂明希子

雪抱き山大またに虹橋の自然の華に声なくながむ

立花 孝子

又しても賀状書きの季節なり来る年の幸多きを祈りつ

小林 諒子

健やかに新しき年むかえなむ永久の幸せ皆ともどもに

乃婦

引き締めて年の瀬を出るわが孫の出勤なるか消防車ゆく

沙羅

人生ぞ最後の最後たどるまでこも知らぬ七変化ありて

のぞみ

受け取りしべに出来ないの大根は衣に紅のつくがごとしに

無名女

師走の集いに白きミニツリーだれともなしにうたひずさむ

さと女

百余年佛祖の教え伝えきし大雄禪寺新春迎ふ

人のうごき

	前月比
世帯	998戸 0戸
人口	2,017人 -3人
男	933人 -2人
女	1,084人 -1人

地区別の世帯と人口

地区	世帯	人口	前月比
泊地区	324戸	704人	-2
盃地区	184戸	390人	-3
茅沼地区	191戸	406人	±0
老人ホーム	116戸	116人	+1
渋井地区	99戸	220人	+1
堀株地区	84戸	181人	±0
計	998戸	2,017人	-3

[20. 11. 30現在 住民基本台帳]

交通安全

デイ・ライト (昼間点灯) 運動実施中!



通年展開

再生紙を使用しています

全国統一防火標語 火のしまつ 君がしなくて 誰がする